

2020年3月17日

国際線の運航状況（コロナの影響は今？）RVS版

コロナウイルスの影響で国際線に欠航が相次いでいる。

その影響はどれだけだろうか？

3月16日の各空港の運航状況と2019年の夏ダイヤから推定し結果は以下のとおり。

（算出方法）各空港の3月16日の運航状況から「運航便」と「欠航便」を抽出。

「欠航」のほか、既に「運休」処理され「欠航」に表れないものもあるため、2019夏ダイヤ（国交省「国際線就航状況」）に照らして「運休」便数を推定し「欠航運休」便とした。

1. 主要7空港※の運航／欠航運休の状況（推定値）

※成田/羽田/関西/中部/福岡/那覇/新千歳

- ・ 全体の6割以上が欠航運休
- ・ 運航されているのは成田で6割、羽田で約半分、他の5空港は1/4以下
- ・ 地方空港で運航されたのは2便だけ（岡山/鹿児島の台北便）

（図表1）主要7空港の国際線運航/欠航の状況（3月16日出発便）

	運航 便	欠航 便	(運休)	欠+休	(欠休率) %
成田	144	73	(25)	98	40
羽田	60	48	(8)	56	48
関西	46	53	(85)	138	75
中部	14	42	(3)	45	76
福岡	9	44	(3)	47	84
那覇	7	11	(14)	25	78
新千歳	4	25	(6)	31	89
(計)	284	296	(144)	440	61
鹿児島	1(台北)				
岡山	1(台北)				

2. 韓中香線で運航は 6%、台湾線は 35% (7 空港での推定値)

7 空港に限っては;

- ・ 韓国/中国/香港線は 94%が欠航運休
(成田/関西では 21 便が運航) ANA・JAL7 便、韓国系 3 便、中国系 11 便
運航先は上海 8、北京 3、香港 2、他中国 4、ソウル 3、釜山 1 空港
- ・ 台湾線は 21 便(35%)が運航されている。
- ・ 東南アジア線の欠航は約 2 割、その他は 12%

(図表 2) 主要 7 空港での運航/欠航運休の路線別内訳(3 月 16 日出発便)

	欠航					運航				
	計	韓中香	台湾	東南ア	欧米等	計	韓中香	台湾	東南ア	欧米等
	便	便	便	便	便	便	便	便	便	便
成田	73	50	5	10	8	144	16	7	46	75
羽田	48	40	4	2	2	60		5	24	31
関西	53	44	4	2	3	46	5	6	20	15
中部	42	33	2	5	2	14		1	7	6
福岡	44	35	4	4	1	9		3	4	2
那覇	11	7	4			7		6	1	
新千歳	25	15	5	3	2	4			2	2
(計)	296	224	28	26	18	284	21	28	104	131
(運休)	(144)	(119)	(23)	(2)						
欠+休 計	440	343	51	28	18					
欠休率(%)	61	94	65	21	12					

3. 地方空港は壊滅的

地方空港では既述の 2 便を除き、全く運航が止まっている。

因みに下表は、2019 年夏ダイヤによる週間便数(国交省資料)である。

23 空港で、本来なら飛んでいるであろう週間 324 便(1 日当り 46 便)の殆ど全てが欠航運休ということである。

(図表 3) 地方空港の国際線; 2019 夏ダイヤ; 国交省資料

	(小計)	韓中香	台湾	東南ア	欧米等
	便	便	便	便	便
1 旭川	2		2		
2 函館	12		12		
3 花巻	4	2	2		
4 青森	3	3			
5 仙台	20	7	13		
6 新潟	12	9	3		
7 富山	12	8	4		
8 小松	16	9	7		
9 茨城	11	9	2		
10 静岡	21	19	2		
11 岡山	23	16	7		
12 広島	23	13	7	3	
13 米子	8	8			
14 高松	23	16	7		
15 松山	5	5			
16 北九州	32	25	7		
17 大分	13	13			
18 佐賀	21	19	2		
19 長崎	5	5			
20 熊本	13	10	3		
21 鹿児島	29	24	5		
22 宮崎	8	6	2		
23 石垣	8	6	2		
(小計)	324	232	89	3	0
便/日	46	33	13	0.4	0
構成(%)	100	72	27	1	

以上